

【別紙】 令和7年度 学校 自己評価重点目標シート (川口市立戸塚綾瀬小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日は、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	・すすんで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・たくましい子
目指す学校像	【あかるく やさしく せいいっばい】 子ども一人ひとりの「居場所」があり、保護者・地域と「未来を考え」学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	5名
事務局(教職員)	4名

領域	学 校 自 己 評 価			年 度 評 価 (令和8年2月12日 現在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が意欲をもって協力しながら対応している。さらに、各主任等に使命感をもたせ対応方向を実現し持続可能な組織とする。 ・「働き方改革」「業務改善」を進め、児童と向き合う時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の学校運営に対する参画意識を高め、組織と教育活動の活性化を図ることにより、児童一人一人の「生きる力」を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校経営方針」の重点について、学年・学級・校務分掌組織での取組状況を把握し、指導助言を行うことで、学校経営方針を具現化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価組織運営教職員99.0%。企画委員会前に提案資料全てに目を通し、指導助言をすることで、学校経営方針に沿った教育活動の展開を全職員で行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針の具現化については、取組を継続していく。 ・他市と比較して、管理職の仕事量がたいへん多いが、学校だけで改善できる課題ではない。
		<ul style="list-style-type: none"> □業務内容の精選をし、時間外在校等時間月4.5時間以上の教職員をゼロにする。 	<ul style="list-style-type: none"> □適正な在校時間把握・削減の取組を実施し、数値・可視化していく。 □リフレッシュデー・ふれあいデーの確実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> □日課表の変更・会議時間や内容の精選をした。しかし、管理職の仕事は減らず、毎月時間外在校等時間が8.0時間に迫る勢であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の出張も他市と比較して多いが、学校だけで改善できる課題ではない。
		◇	◇	◇		
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な教育課程の実施を土台とした「自己を適切に表現する児童」育成を目指し、国語科を中心とした授業改善を実現する。 ・令和6年度の県学調結果は、県平均値を上回っている。現状維持または、向上させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上を核とした、確実な教育課程の編成、実施、評価、改善を行い、学力を着実に向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語科授業づくりを通じ、学力向上に向けた指導内容を計画的に実施して校内共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内授業研究会の際、全ての学習指導案作成時と研究協議会時に詳細な指導をした。国語科の目標や授業構築について教師力を高められた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度川口市教育委員会研究委嘱発表会を手たでの一つとし、教師の指導力を図り、児童の学力を向上させることが課題である。
		<ul style="list-style-type: none"> □授業時数を確保し、質的な保障を通じ、学力向上をする。 	<ul style="list-style-type: none"> □「授業改善6つの視点」の徹底を図り、指導法改善への支援(教室訪問・校内巡視・学級通信・週案・授業時数記録等による授業実施状況と指導内容の定期的把握)と実践の見届けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □2学期に全教員の授業を1時間以上参観し、個別指導により授業力向上を図った。授業改善6つの視点に沿った指導ができてきている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ達成していると思います。 ・来年度の日課表の変更についてプリントが配布された。 ・タブレットの持ち帰りについて、低学年には重すぎ、毎日の持ち帰りは難しいと感じる。視力低下の心配もある。
		◇	◇	◇		
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が友好的に学校への協力体制を進めている。 ・学校運営協議会の組織・運営を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域の連携を深め、「信頼され安心する」学校をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより・HP・スクリーン等を活用し、学校の教育活動その他の教育情報を積極的に発信し、家庭・地域との一層の連携をする。 ○PTA活動(本部役員会含む)に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な情報発信をした。各種委員会にも参加し、声に耳を傾けてきた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動の修正・変更に対する理解を図るのにはたいへんな労力を要するとともに、時間がかかってきた。学習指導要領(平成29年告示)に即した教育活動へと急ピッチで転換していることへの理解を今後も継続する。
		<ul style="list-style-type: none"> □学校運営協議会の運営方法を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> □学校運営協議会を年間3回開催し、学校経営・運営の改善をしながら、地域と共に歩む学校づくりをする。 □第3回にて、令和8年度の学校経営方針の承認を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □学校運営協議会の開催方法を、文部科学省や埼玉県教育委員会が示しているやり方へ変更した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・十分達成していると思います。 ・あやせつ子コンサートや授業の見学など、年3回の協議会が工夫されて運営されている。
		◇	◇	◇		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和8年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺工事多く一層安全対策が必要ですが、地域の取組あればおっしやってください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・十分達成していると思います。 ・教職員の勤務時間については、保護者配付のプリントで周知されている。(定時退勤ワークなど) ・仕事量は変わらないのに、働き方改革等進めなくてはならず、大変だと思います。 	
.	
<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ達成していると思います。 ・先生方が児童に真剣に取り組んでいる姿に接し、時には気分転換が必要かと思われます。 ・学力向上に向けて、工夫された授業が行われていると感じる。 	
.	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共に行う道路・公園のゴミ拾いを通じ、これからの児童の公共意識の一步になさってはいかがでしょうか。 ・あやせつ子ブログを拝見しているが、更新が遅いように感じる。しばらく更新がない時もある。 	
.	

教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は意欲的に職務を行っている。若手教員を含めた、個別最適な学習指導の授業力向上及び、生徒指導上の諸問題への対応力向上が必要である。 ・校内における研修体制や各分掌における指導体制を向上し、実践的な研修による指導力向上を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア育成の視点を含めた教職員の資質向上を図る。 □川口市教育委員会委嘱研究の中間発表を研究途中の目標点とし、戸塚地区の学校へ広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年主任への指導助言及び若手教職員の育成を通して、授業力向上を含めた教育活動の活性化をする。 ○一人一人の課題に応じた人材育成のため、自己評価シートをツールとして活用する。 □全教員が年1回以上公開授業を行い、授業力を向上させる。 □中間発表を誌上発表会とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の教室訪問とともに、「チェックシート（授業改善6つの視点含む）」を活用した教室訪問の実施（通年・2学期に1時間）をした。その後の個別指導も実施した。 □研究協議会等はワークショップ形式で実施、教職員一人一人が主体的に研修に取り組めた。授業研究会7回実施予定である。（すでに6回実施） 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会の際、全ての学習指導案作成時と研究協議会時に詳細な指導をした。国語科の目標や授業構築について教師力を高められた。 ・来年度も継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分達成していると思います。 ・よろしく願います。 ・教職員が意欲的に職務を行っていることが伝わる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の老朽化に対応した計画的な修繕を実施する。 ・潤いのある安全・安心な教育環境づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備の計画的な整備や修繕、予算運用と事務処理の最適化を通して、教育環境を改善・充実する。 □児童・教職員にとって安全・安心な教育環境づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○責任者を明確にし、教職員の危機管理意識を高め、定期的・日常的な施設設備点検を組織的・継続的に実施する。（毎月1回・随時） □各学級の備品、掲示計画を統一し、適切な学習環境づくりをする。 □教室環境のユニバーサルデザイン化を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動に支障が出ないよう、施設・設備の維持管理と修繕をした。教頭、事務主幹、業務員及び各教科等主任と連携を図り、備品の修理や補填に努めてきた。 □計画的な備品購入をした。教室掲示は、校内研修にて、令和8年度の方角性を確認中である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検を中心に、安全・安心の視点に立ち、施設の整備をした。市教委教育総務課との連携により、教育活動に支障が出ないようにできた。常に安全・安心な施設・設備とし、事故防止に徹した。 ・安全点検日を毎月10日と設定したが、定着が図れなかったため、来年度も継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設を大切に使用することは大事です。新しいものを要望・要求することも特に将来の児童にとってはより大事な事と思えます。どんどんおっしゃってください。 ・学校に古さを感じることはないが、昨年の水泳の授業直前のプールの改修などもあり、日々の点検は大事だと思う。 ・教室環境、掲示に関して特に問題はない。
	◇	◇	◇				
	◇	◇	◇				